

平成 21 年 10 月 29 日

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社

代表者名 執行役社長 林 朝 則
 (コード番号 6839 東証・大証第一部)
 問合せ先 I R・広報室 高中 直幸
 (T E L . 0 7 2 - 8 7 0 - 4 3 9 5)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 8 月 10 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成 21 年 5 月 13 日発表予想 (A)	174,500	4,100	3,800	3,000
平成 21 年 8 月 10 日発表予想 (B)	174,500	5,500	5,300	3,900
今 回 修 正 予 想 (C)	167,000	10,000	9,500	7,300
増 減 額 (C-B)	△ 7,500	4,500	4,200	3,400
増 減 率 (%)	△ 4.3	81.8	79.2	87.2
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	144,659	4,320	5,992	△ 12,102

2. 通期連結業績予想数値の修正

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 21 年 5 月 13 日発表予想 (A)	340,000	6,000	5,300	3,900
平成 21 年 8 月 10 日発表予想 (B)	—	—	—	—
今 回 修 正 予 想 (C)	330,000	12,000	11,400	8,700
増 減 額 (C-A)	△ 10,000	6,000	6,100	4,800
増 減 率 (%)	△ 2.9	100.0	115.1	123.1
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	302,777	1,409	1,226	△ 17,364

3. 第2四半期連結累計期間業績予想修正の理由

売上高につきまして、DVD関連製品とプリンターは好調に推移し計画を上回る見通しですが、Philips ブランド製品の追加でラインナップが充実した液晶テレビは前年同期と比較して大幅に伸長したものの、世界的な液晶テレビ需要拡大によるパネル調達不足の影響などにより計画を下回るものと予想されます。

これらの見通しから、売上高全体では計画を下回る見込みであります。

利益面につきましては、売上計画は下回ったものの液晶テレビの増収による増益効果が計画以上に大きく、採算面が大幅に改善いたしました。また、DVD関連製品と情報機器も売上が計画を上回ったことにより増益となりました。

以上の理由により、平成21年8月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間業績予想における、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益をそれぞれ修正いたします。

4. 通期連結業績予想について（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

第3四半期以降においては、パネル調達不足は解消する見通しであるものの、為替相場の円高基調や映像機器を中心に熾烈な価格競争が続くものと予想されます。

また、当社グループの最大の市場である米国については、年末商戦は全体としては前年と比較して客足が鈍いとの見方があるなか、当社の主力製品である液晶テレビは堅調に推移するとの予測もあります。一方で、雇用不安に伴い消費支出が抑制され、更に価格が低下する可能性もあり、総じて不透明な状況にあります。

これらの条件を勘案した結果、平成21年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 業績予想は、現時点で入手した情報に基づき判断したものでリスクや不確実性を含んでおります。

主要市場である米国をはじめ、海外の経済情勢の変化や製品価格の急激な変動などにより実際の業績は見通しと異なることがあります。

以 上